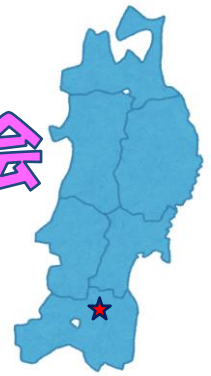


北海道・東北 体育・保健体育ネットワーク研究会 福島ピーチラウンド



平成28年8月6日(土) コラッセふくしま(福島市)



「平成 28年度 北海道・東北 体育・保健体育ネットワーク研究会 福島ピーチラウンド」が、福島市で初開催されました！佐藤 豊先生、高橋修一調査官を始め、岩手県3名、宮城県1名、山形県2名と、近県からも多数の皆様方が駆けつけてくださいました。福島県内からは、各校種の先生方や指導主事など28名が参加し、外気温37度の中、文字通り熱気溢れる“熱いラウンド”となりました。

1 情報提供①「中央教育審議会より」(国立教育政策研究所 高橋 修一 教科調査官)

高橋修一調査官の講義では、「次期学習指導要領のポイント」、「社会の変化と学習指導要領の役割」、「育成すべき資質・能力の三つの柱」、「アクティブラーニングとカリキュラムマネジメント」等々、時にユーモアを交えながら、テンポ良くわかりやすい、そして体育・保健体育への熱い思いが伝わってくる講義は、あっという間の時間でした。



2 情報提供②「全国学校体育研究大会福島大会へ向けて」(桐蔭横浜大学 佐藤 豊 教授)



佐藤 豊先生からは、今年 11 月 11、12 の両日に、福島市において開催される「全国学校体育研究大会福島大会」へ向けて、授業づくりに関わる講義をいただきました。特に「指導と評価の計画を立てる際のポイントと実際について」「体育学習のわかるとできる」「よい体育授業の二重構造」などの講義は、福島大会における公開校関係者や授業者にとって、今後の授業づくりにおいて大きなプレゼントとなったことでしょう。

3 単元構想図ワークショップ&まとめ

休憩の後、佐藤 豊先生、高橋修一調査官の講義の熱気もさめやらぬなか、「単元構想図のワークショップ」がスタート。中学校1・2年のバレーボールの単元を題材に、「指導と評価の位置付け」についてグループワークを行いました。大まかな学習過程の決定から、指導内容を対応させ、各観点ごとの評価時期について、それぞれの校種や立場から意見を出し合い「単元構造図」にまとめ、指導と評価への理解を深めました。



4 情報交換会

第2回ピーチラウンドでは、福島市の名物“円盤餃子”が食べられるお店「山女」にて、23名の参加者のもと、盛大に情報交換会が行われました。また、豊先生を始め、他県の先生方より頂戴した各地の美味しい名酒も振る舞われ、会話も弾みました。なお、この日は福島市において「わらじまつり」が開催され、お祭りの雰囲気の中、参加への経緯や授業への思いが熱く語られました。

(文責：福島ピーチラウンド事務局 山本秀和)